



関東・東北豪雨災害について

放置できない地元住民の不安

坂野 茂実 議員

議員

堤防工事が完了した美妻橋下流右岸の堤防は、越水・決壊した現場と同様、1メートル以上の高低差があり大変危険な状態で施工されている。今回、避難指示が出された大輪地区では、土のうを積んで越水をとめたが、場合によっては越水・破堤の可能性もあったわけで、地元の皆さんも大変心配をしている。

都市建設部長

計画堤防水位の高さは確保されているが、橋梁に余裕を持たせる高さについては一部不足していると同っている。

議員

橋の架けかえがなければ現状のままという理解でよいか。

都市建設部長

そのとおりである。

議員

住民の皆さんは雨が降るたび心配しなければならぬ状況である。谷になっていく部分は平らにできないのか。要望はしているのか。

都市建設部長

その場所というわけではなく、鬼怒川全体の整備というところで要望している。

議員

「今回、三坂が切れなかったら大輪が切れたんじゃないか」と地元の皆さんは心配をしている。越水が始まってから20キロ土のう積むのではとても間に合わない。大型土のうを平常時から並べておくことはできないか。

都市建設部長

国交省の河川事務所等に問い合わせ、あるいは要望をしていきたいと考えている。

議員

架けかえがいつになるかわからないものをいつまでも放置しておくことはできない。ぜひ国に要望していただきたい。



美妻橋下流右岸堤防

□ 殿 園 園 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 園

災害に学ぶ 防災協定の重要性



防災協定について



寺田 洋 議員

市民生活部長

避難所の毛布、避難スペースの間仕切り用の段ボールも不足していたと認識している。

議員

新しく防災協定を結ぶ考えはあるか。

市民生活部長

今後、様々な分野であらゆる方面で各種の災害協定を結んでいきたい。

議員

具体的な市町村を検討しているか。

市民生活部長

具体的に今進めているところはないが、今回の水害では避難所が問題となったので、今後、他自治体との広域避難所といったものも考えていく上で、他市町村との協定も必要になってくると思う。

議員

いろいろなところと密に連携して、被害を最小限に食い止める方向で考えていただきたい。

市長

避難所についての協定は近隣自治体と結んでいきたいと思う。

議員

近隣自治体と仲よくしていくことは、防災の強化につながる。今後とも努力をお願いしたい。